

地域の持つ「宝」を生かした 元気な丹後

丹後では、「食」「自然」など地域の「宝」を生かして「海の京都」事業を推進するとともに、これからの若い力の育成、健康長寿の地域に暮らす高齢者の安心・安全対策、環境対策や生活基盤の整備などを行い、地域のさらなる発展を目指します。

TOMORROW 丹後プロジェクト 新規

10〜20年後の丹後地域を見据え、地元高校生が企画段階から参画する地域イベントを開催するなど、地域活性化に若い力を生かし、若年層の地元への愛着、誇りの醸成を図ります。

「プロジェクト」の主なイベント

5月 阿蘇海フェア

(与謝野町立生涯学習センター)
 地元高校生らによる取り組みの発表や天橋立アサリの試食など

10月 丹後・食の王国 食と文化の祭典

(丹後あじわいの郷)
 食と文化の両面において地元高校生らと協働



山陰海岸ジオパーク PR推進事業 新規

山陰海岸ジオパークの知名度向上や魅力発信のため、モニターツアーの開催、地域の食を生かした取り組みなどを行います。



災害に強い 丹後の人づくり事業 新規

高い高齢化率、全市町が海岸に接しているなど、丹後地域特有の実情を踏まえた訓練のほか、地域を守る防災リーダーの育成講習会など、市町との連携により、丹後地域の防災・減災対策を推進します。

若い力あふれる「元気な丹後」を目指すため、地元市町・地域の皆さんと一緒に取り組んでいく主な事業をお知らせします。

京都ジオトトレイン(仮称) 運行事業

KTR(北近畿タン)「鉄道」利用促進・観光誘客のため、「あかまつ」「あおまつ」に続くリニューアル車両を活用し、府内の山陰海岸ジオパークを巡るツアーを実施します。



丹後産品 ブランディング事業

丹後産「シヒカリ」などを都市圏の大手商業施設で販売・PRし、「丹後の知名度向上」を進めます。また、鹿肉と猪肉を地域食材として活用する取り組みを進めます。



次世代につながる 自然との共生事業

農山漁村には、食、自然、伝統文化など多様な機能があります。地域と都市の住民が一緒に農業や農業用施設の学習、協働活動を行うことで「ふるさとの保全を進めます。」



ツキノワグマ 行動把握調査等事業

発信器を装着したツキノワグマの行動把握や、地域の皆さんが協力して獣害対策に取り組むモデル事業により、安心安全な生活の確保と農産物被害の低減を図ります。

丹後の豊かな緑環境を 守り育てる事業

松枯れや手入れ不足から海岸林を守り育てるため、松くい虫に強い松などを住民が参加して植栽し、美しい森林の再生を目指します。



丹後地場産業に根付く 人づくり事業

丹後の子どもたちにも、ものづくりへの関心を持ってもらうため、小中学生を対象に身近にある素材を使った体験教室を開催します。



阿蘇海環境づくり 協働事業

周辺自治体、商工観光団体、NPO、地元高等学校、地域の皆さんで構成する「阿蘇海環境づくり協働会議」において、清掃活動や環境学習など、環境改善を目指した取り組みを進めます。



天橋立の内海「阿蘇海」の清掃活動の様子